

4. 進行管理

4-1 推進体制

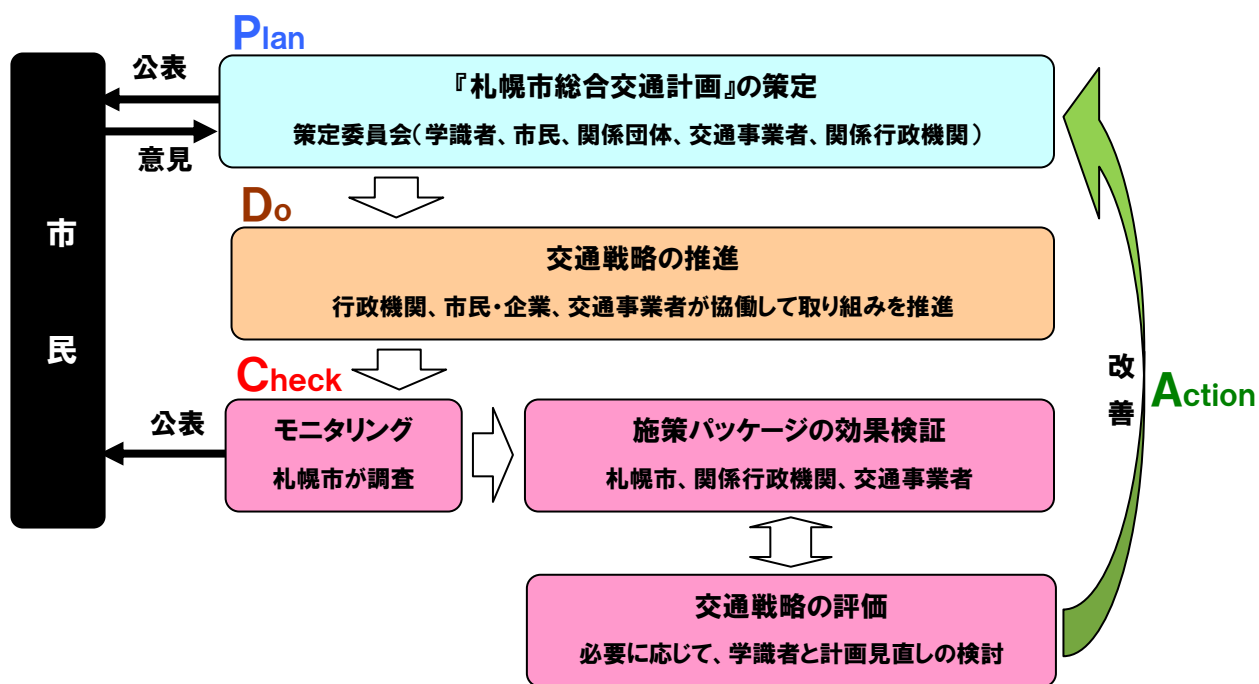
札幌市総合交通計画は、策定後も定期的に計画の見直しを行うため、進行管理（PDCAサイクル）を行います。そのため、関係行政機関、市民・企業、交通事業者などの各主体が連携して取り組むことが重要です。

計画策定（Plan）段階では、学識者をはじめとして、市民、関係団体、交通事業者、関係行政機関を代表する委員で構成する策定委員会において検討を行い、検討結果を市民に公表するとともに、市民意見を適宜計画に反映します。

また、計画の推進（Do）段階においては、後述する「協働の取り組み」（役割）に応じて、各主体で連携・分担して取り組みます。

さらに、評価（Check）段階においては、継続的にモニタリング調査（公表）を行うとともに、関係行政機関、交通事業者とともに施策パッケージの効果検証を行います。

この検証結果と、計画の進捗状況や社会経済状況の変化等を踏まえて、必要に応じて学識者と調整を行いながら、計画の見直し（Action）を行います。



- ✓ **Plan** [計画づくり]：市民や関係機関等による策定委員会において計画づくりを行います。
- ✓ **Do** [計画の推進]：行政機関、市民・企業、交通事業者が連携・分担して施策を実施します。
- ✓ **Check** [効果検証・評価]：施策パッケージに対応した指標で効果検証を行い、社会情勢等も踏まえて、計画の評価を行います。
- ✓ **Action** [改善]：効果検証や評価を踏まえて、必要に応じて計画の見直しを行います。

図 4-1 札幌市総合交通計画の推進体制のイメージ